

推薦文④ 西田衣里氏（1998年発達科学部卒、大阪市大・修卒、リクルート社）

私は、社内で人事担当として10数年のキャリアを積み、経験年数が一番長くなる中、自分の経験をベースとした判断軸だけでは限界が来るのでは？と漠然と考えていたところに、第2期・ミニMBA講座の案内を目にしました。

文系出身なので、受講資格に該当していないのでは、という不安を感じつつも、月1回の講義で経営を体系的に（しかも格安で）学べることに魅力を感じ、受講を希望しました。

私自身が受講して良かったと感じていることを三点お伝えします。

<体系的にベーシックな理論が学べること、また、今後の学びの糸口も学べること>

毎講義のテーマ毎に、必要なエッセンスが凝縮されたテキストを頂けるので、1年間を通して受講することで、全体像をつかむことができました。一度の講義で詳細に理解することは難しくても、何がわからないなのか（必要なのか）がわかりましたし、テーマ毎にリーディングアサインメントに加えて、大住先生が目で精査された参考文献を紹介して頂けるので、どこに情報を取りに行けば良いのかがわかりました。

<様々な視点・知見を得られること>

MBAを学ばれ、海外・国内のビジネスの場で実践してこられた大住先生のご経験はもちろん、学生時代の専攻やビジネスキャリア、業種・職種が異なる分野で活躍されている塾生のみなさん、時には1期生の方ともご一緒させて頂くことで、それぞれ異なる環境で実際に経験されたこと、今まさに仕事場で起きている課題や悩みを共有したりと、日常の仕事の延長線上では得られない視点、知見を得ることができました。

<学ぶ習慣（サイクル）ができること>

ミニMBA塾の講義は、講義前にリーディングアサインメントと事前に配布される講義テキストを学習する→講義の場で大住先生をはじめ、メンバーの実践・経験の話で肉付けする→テーマに沿ったレポートを作成してメンバーと共有する、というサイクルで進みます。

当初は慣れないこともあってペースを掴むことに苦労しましたが、1カ月に1回という講義のペースが丁度良く（どうしても都合がつかない時は補講もして頂けます）、レポートをメンバーと共有する、という緊張感もあって、事前・事後学習を習慣化することができました。

ミニMBA塾での学びが実践の場に活かしている実感はまだですが、思考や判断の一つの拠り所として、今後確実に役立つ実感を持っています。

興味はあるけれど…と悩まれていらっしゃる方には、ぜひ受講されることをお勧めします。第5期生のみなさんとご一緒できる機会を、楽しみにしています。